

■米内光政 海軍軍人。国際的視野をもつ良識派の提督として知られ、陸軍の策謀で首相失脚後、敗戦収拾に尽力。

よないみつまさ

・ ・ ・ ・ ・ 1880＝ 岩手県三割村(盛岡市)で、旧南部藩士の長男に生まれる。

明治14年政変 1881＝ 1歳：

父は政治道楽・発明マニアで花街に遊ぶ気宇壮大・義侠反骨の蕩児で、一家困窮しており、

帝国憲法発布 1889＝ 9歳：

帝国議会始・1890＝10歳：父が借金を残して出奔してしまったため、

筆舌に尽くしがたい苦勞をする母の恩愛の一方、新聞配達・牛乳配達などして、家計を助け、

日清戦争始・1894＝14歳：

名門盛岡中学に入学、学費滞納になるほどの貧しさを、アルバイト等で凌ぎ、

子規句歌革新 1898＝18歳：盛岡中学を中退して、_海軍兵学校に入学、

田中正造直訴 1901＝21歳：_中位以下の成績で卒業、海軍少尉となって{金剛}に乗組む。

日露戦争始・1904＝24歳：_<日露戦争>には中尉として従軍し、駆逐艦電乗組として日本海海戦に参加、

日露戦争終・1905＝25歳：金鵄勲章を受けるとともに、母を東京に迎え、父も受け入れ、借金を引き継いで家計の厳しいなか、

満鉄発足・ ・ 1906＝26歳：半年の砲術練習所学生を終え、砲撃の名手になるとともに、結婚。

韓国反日暴動 1907＝27歳：

砲術専門の海軍将校として進み、大尉に昇進、{新高}{敷島}の分隊長を経て、

伊藤博文暗殺 1909＝29歳：長男が誕生するも、直後に死去。

韓国併合・ ・ 1910＝30歳：長女が誕生。{薩摩}分隊長となる。同期生佐久間勉の潜水艇遭難による悲壮な殉職事件に衝撃を受ける。

大逆事件判決 1911＝31歳：巡洋艦{利根}の砲術長で、ジョージ五世戴冠式式典のためイギリス回航後、砲術学校教官となる。

明治天皇没・1912＝32歳：

少佐に進級、なお7人の子が誕生し、うち3人が夭折するなか、

第一次大戦始 1914＝34歳：_海軍大学校甲種学生教程を卒業して、旅順要港部参謀をつとめるうち、<第一次世界大戦>が勃発、

21ヶ条要求・1915＝35歳：ロシア駐在となり、

民本主義・ ・ 1916＝36歳：

ロシア革命・1917＝37歳：<ロシア革命>の勃発を体験して、帰国。佐世保鎮守府参謀、ついで軍令部出仕・参謀となり、

本格政党内閣 1918＝38歳：<シベリア出兵>に際して浦塩派遣郡司令部付をつとめる。

大暴落・ ・ ・ 1920＝40歳：大佐に進み、

原敬首相暗殺 1921＝41歳：ポーランド駐在員監督となって赴任、

水平社結成・1922＝42歳：_大戦後の東ヨーロッパの実情を見聞して、帰国。ワシントン条約で海軍が大削減となる。{春日}艦長、

関東大震災・1923＝43歳：{磐手}艦長として、オーストラリア方面へ遠洋航海、

護憲三派圧勝 1924＝44歳：{扶桑}から、*日本海軍のシンボル{陸奥}艦長へと大栄転、

治安維持法・1925＝45歳：_海軍少将となり将官に進む。第二艦隊参謀長、

金融恐慌・ ・ 1927＝47歳：父が死去。

共産党事件・1928＝48歳：第一遣外艦隊司令官、

_この間、対英米強硬派が主導権を握って、条約派が次々と海軍を去るのに対応して、

海軍軍縮条約 1930＝50歳：_海軍中将に進むも、鎮海要港部司令官という閑職に配転、

満州事変・ ・ 1931＝51歳：

五一五事件・1932＝52歳：_予備役入り確実と見られるなか、第三艦隊司令長官に異動するが、過労で重病となり、

国際連盟脱退 1933＝53歳：_佐世保海軍病院で療養して回復後、佐世保鎮守府司令長官に大栄転、

帝人疑獄事件 1934＝54歳：_第二艦隊司令長官に抜擢され、旗艦{鳥海}に乗船、

芥川直木賞始 1935＝55歳：_横須賀鎮守府長官になると、

二二六事件・1936＝56歳：_*<二二六事件>の動揺を、井上成美参謀長とともに抑えて、迅速に事態収拾、昭和天皇の信頼を獲得。ワシントン条約・ロンドン条約の期限が切れる。兵学校の成績では異例の連合艦隊司令長官に就任し、

日中戦争始・1937＝57歳：_大将。林銑十郎、第一次近衛文麿の海軍大臣となり、

健保+総動員 1938＝58歳：_日中全面戦争の開始に際しては不拡大論を唱え、日独伊三国同盟締結に強く反対して、流産させた。

第二次大戦始 1939＝59歳：_平沼騏一郎内閣にも留任し、総辞職で軍事参事官に退くも、天皇の意向にも合っていたことから、

大政翼賛会・1940＝60歳：_*阿部信行内閣の後をうけ組閣、首相は文官たるべしとの信念で海軍の引き止めにもかかわらず予備役となるが、陸軍などから親英米派と攻撃され、日独伊三国同盟締結に批判的で、おりからの新体制運動に消極的だったため、陸軍の策謀で倒された。その後、重臣として遇されるも、予備役のため権限を行使できず、

日米開戦・ ・ 1941＝61歳：前年来病臥していた妻が死去。

創価学会検挙 1943＝63歳：

年金+総武装 1944＝64歳：

敗戦・ ・ ・ 1945＝65歳：_戦況建て直しのため、海軍の希望と天皇の意向で現役に復帰、小磯国昭から、*鈴木貫太郎・東久迩稔彦・幣原喜重郎各内閣の海相を務め、敗戦に際してはポツダム宣言受諾に努力。<敗戦>後、海軍の武装解除を指揮し、海軍の“葬儀委員長”の役を果たし、

新憲法公布・1946＝66歳：元大臣秘書官の麻生孝雄に誘われて、釧路での北海道牧場株式会社経営に参加するが、

極東裁判判・1948＝68歳：慢性腎臓病の既往症に带状疱疹で寿命縮まり、肺炎により_没した。